

対象国の条件:

研修コース番号:(A) J1804381/(B) J1804374

案件番号:(A) 1884810/(B) 1884811

主分野課題:環境管理/一般廃棄物

副分野課題:

使用言語:(A) 西語/(B) 英語

案件概要

開発途上国の一般廃棄物の約60%は有機ごみであるため、これらの国で廃棄物管理を行う際は、コンポスト(たい肥化)技術が有効な手段とされている。本研修では、コンポスト事業を推進する際に課題となる品質管理、市民参加促進、流通システム確立などについて、行政、地域の役割も含め、事業運営のための技術・ノウハウを移転することを目的としている。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修内容を活かし、各自治体が行うコンポスト事業の改善計画が策定・提案され、コンポスト事業が普及される。

【対象組織】

地方自治体において、コンポスト事業運営を行っている、またはコンポスト事業を行う予定のある廃棄物担当部門

【成果】

1. 日本における国・自治体の廃棄物管理について、政策、実施体制の概要を説明できる。
2. コンポストの概要、技術内容について説明できる。
3. コンポストの応用性、事業運営について説明できる。
4. コンポスト事業改善のための計画が策定できる。

【対象人材】

1. 地方自治体で廃棄物管理(特にコンポスト事業)に従事している者
2. 当該分野で3年以上の職務経験を有する者

内容

【本邦研修】

1. 日本の循環型社会の法体系、一般廃棄物行政概論、北九州市の廃棄物政策・計画
2. 規模に応じた各種コンポスト技術についての説明・実習、コンポストセンター等導入事例視察
3. コンポストの応用に関する事例分析、関係者の参加促進・組織化、有機ごみの分別・収集、コンポスト事業の費用対効果分析
4. アクションプラン作成指導、ディスカッション

本邦研修期間

(A) 2018/8/19~2018/9/20
(B) 2018/10/28~2018/12/1

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

(A) JICA九州
(B) JICA九州

関係省庁

実施年度

2018~2020

主要協力機関

(A) 調整中/(B) 調整中

特記事項
及び
ホームページ